

定例記者会見

日時 2月17日(木) 13時30分から
場所 市役所4階 大会議室

1 開 会

2 配布資料の確認

3 市長挨拶

4 記者発表(市長)

- ① 令和4年度 当初予算概要
- ② 韮崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進方針の策定
- ③ 韮崎市民活動サポートセンターの設置
- ④ 健「幸」社会の実現に向けた取り組み
- ⑤ 韮崎市立病院整形外科「肩肘手の外科センター」の開設
- ⑥ 韮崎市スポーツコミッションの設立
- ⑦ 窓口支援システムの導入
- ⑧ 武田の里ウォーク～新府桃源郷コース～
- ⑨ 韮崎市民俗資料館企画展
 - ・徳島堰～大地を潤す用水の歩み～
 - ・武田の里の鎌倉時代～遺跡から垣間見る甲斐源氏の姿～
- ⑩ 韮崎大村美術館企画展「甦-よみがえり-」

5 質疑応答

6 令和4年第1回韮崎市議会定例会案件について(総務課長・総合政策課長)

7 質疑応答

8 そ の 他

9 閉 会



**TEAM
NIRASAKI
山梨県韮崎市**

令和4年度 荳崎市一般会計当初予算

総額			146億7,700万円
主な歳入			予算額 構成比
市	税	57億5,243万円	39.2%
地 方 譲 与 税		1億3,206万円	0.9%
地 方 交 付 税		21億3,800万円	14.6%
分 担 ・ 負 担 金		2億1,574万円	1.5%
使 用 ・ 手 数 料		2億3,266万円	1.6%
国 庫 支 出 金		15億6,165万円	10.6%
県 支 出 金		11億4,175万円	7.8%
基 金 繰 入 金		8億7,255万円	5.9%
諸 収 入		3億3,882万円	2.3%
市 債		8億4,160万円	5.7%
そ の 他		14億4,974万円	9.9%
主な歳出			予算額 構成比
人 件 費		22億5,995万円	15.4%
扶 助 費		23億2,337万円	15.8%
そ の 他 一 般 行 政 費		56億5,286万円	38.5%
普 通 建 設 事 業 費		15億8,567万円	10.8%
災 害 復 旧 事 業 費		0万円	0.0%
公 債 費		17億3,520万円	11.8%
貸 付 金		648万円	0.1%
繰 出 金		10億4,600万円	7.1%
積 立 金		3,747万円	0.3%
そ の 他		3,000万円	0.2%
地方債現在高[一般会計]（令和4年度末見込）			184億0,091万円
1人当たりの借金			64万6千円
基金残高[一般会計]（令和4年度末見込）			44億5,029万円
1人当たりの貯金			15万6千円
首長の給与（月額）			76万2千円
首長の交際費			100万円

※ 主な歳入・主な歳出は千円単位を切り捨て

※ 人口はR4.2.1現在：28,478人（外国人含む。）

予算編成状況

（単位：千円・％）

会計名	R4当初予算	R3当初予算	増減額	増減率
一般会計	14,677,000	14,055,000	622,000	4.4
特別会計 国保特会外10会計	6,391,515	6,006,870	384,645	6.4
企業会計 病院他3会計	6,463,253	6,240,335	222,918	3.6
総合計	27,531,768	26,302,205	1,229,563	4.7

令和4年度 主要事業等

	SDGs のゴール	予算額 (単位：千円)		当初予算概要 ページ番号
① 保育業務等のICTの導入関連事業費《拡大》		2,029	児童センター	P 26
		6,204	保育園	P 30
		247	放課後子ども教室	P 32
保育園、児童センター、放課後子ども教室にICTを導入し、保育活動記録の見える化と、保護者との連絡等にスマートフォンを活用するとともに、諸手続のオンライン化を図る。				
② 子ども・子育て支援事業費【新規】		50,000		P 27
荏崎東保育園の民営化に当たり、新園舎建設地として貸し出す用地が河川浸水想定区域であることから、事業者に対して用地のかさ上げ費用を補助する。				
③ 保育料等の負担軽減関連事業費《拡大》		7,317		P 27
多子世帯の保育料・副食費の算定において、多子計算における子どもの年齢制限を撤廃し、第2子以降の保育料等を減額することにより、子育て世代の費用負担の軽減を図る。 (市立保育園) 第2子以降の保育料、副食費の無償化の拡大 (民間保育園等) 荏崎市多子世帯応援補助金の交付				
④ 民俗資料館管理運営費【新規】		3,993		P 46
文化財関連施設に文化財保存公開機能を有した統合博物館の整備を推進するため、文化財保存活用施設建設に伴う基本構想を策定する。				
⑤ 要援護者支援事業費【新規】		616		P 47
要支援者に関する情報を管理し、災害時の実効的な個別の避難経路等を記載した「個別避難計画」を作成する。				
⑥ がん検診事業費【新規】		1,184		P 64
胃がんの予防、早期発見、治療を効果的に行うため、ピロリ菌感染の有無等を検査する胃がんリスク検診を総合検診の検査項目に追加する。				

⑦ スポーツコミッション事業費《継続》



7,887

P 67

令和4年3月に設立を予定している葦崎市スポーツコミッションの活動により、市内スポーツ振興体制の再生やスポーツを通じた持続可能なまちづくりの推進、多角化経営事業の検討を実施する。

⑧ 総合運動場管理運営費【新規】



61,160

P 68

市営総合運動場の整備に向けた夜間照明設備の設計業務及び解体工事費を行う。
令和5年度照明設備更新工事予定

⑨ 消防団運営事業費【新規】



1,494

P 69

消防ポンプ自動車等の運転に必要なとなる消防団員の自動車運転免許のAT限定解除及び準中型自動車運転免許取得費を全額補助する。

⑩ 砂防総務費【新規】



3,894

P 70

WEB版葦崎市ハザードマップを構築し、情報発信を行う。災害への事前の備えや災害時の安全で確実な避難行動に活用することで減災対策を図る。

⑪ 災害対策事業費【新規】



21,428

P 71

指定避難所（29箇所）に防災備蓄倉庫を設置し、災害時に必要な備蓄品等を収納する。

土砂災害警戒区域表示板の設置及び浸水深表示板の追加設置により、平時からの防災意識の向上を図り、災害時に備える。

⑫ クリーンエネルギー導入促進事業費《拡大》



2,500

P 76

再生可能エネルギー及びクリーンエネルギー機器の設置または購入を推進し、地球温暖化対策と環境への負荷軽減を推進する。

⑬ 廃棄物処理対策事業費【新規】



6,193

P 76

第3次葦崎市環境基本計画を策定し、地球温暖化対策（ゼロカーボン）やSDGsなどに配慮し、様々な施策の総合的な推進により環境保全に取り組む。

⑭ 資源リサイクル推進事業費【新規】



6,792

P 76

容器包装プラスチックの一括回収を新たに10月から実施し、環境循環の促進に取り組む。

⑮ 都市計画運営費【新規】



17,820

P 78

市内道路網の現状把握と課題を整理し、将来の道路整備の実現に向けた道路計画を策定するとともに、併せて都市計画マスタープランを改定することでさらなるまちづくりを推進する。(計画策定期間：令和4年から令和6年)

⑯ 定住促進住宅改修事業費【新規】



29,664

P 79

祖母石、藤井、竜岡の各定住促進住宅への入居者の増加を図るため、内装等の改修工事を実施する。

また、今後の住宅のあり方や需要を把握するため、住宅施策実現性調査を実施する。

⑰ 有害鳥獣駆除対策事業費【新規】



4,279

P 87

地域おこし協力隊とその隊員を指導・支援する法人等を募集し、環境調査、駆除対策の研究、捕獲の実施、情報共有等により、農業従事者の高齢化、担い手の減少、耕作放棄地や有害鳥獣の増加等の課題解決を図る。

⑱ 赤ワインの丘ブランド化推進事業費《拡大》



23,891

P 87

小規模ワイナリーの誘致を促進するため、醸造家を目指す市内農家を対象に実習形式で研修・指導を行う「小規模ワイナリー開業予定者サポート事業」を地元ワイナリーの協力を得て開始するとともに、地域おこし協力隊とその隊員を指導・支援する法人等を募集し、市外からの人材確保に努める。また、ワイン原料用のブドウ栽培棚設置費の補助等により、葦崎産ブドウのブランド化を推進する。

⑲ まちなか活性化対策事業費【新規】



8,555

P 89

「まちなか」に人が集まり賑わいを創出するため、地域おこし協力隊の企画による各種事業を展開し、活力あるまちづくりを推進する。

⑳ 定住対策促進事業費【新規】



3,500

P 94

奨学金返還額の一部を助成することにより、市内に定住して就職する若者の経済的負担を軽減し、その後の定住を図る。

㉑ 関係人口創出事業費【新規】



7,523

P 94

にらレバ事業による情報発信に加え、関係人口と双方向のコミュニケーションの導入やイベント体験等により関係人口の創出拡大を図る。

㉒ 総合計画費【新規】

999

P 97

韮崎市の最上位総合計画として、総合的かつ計画的なまちづくりを行う指針となる韮崎市第7次長期総合計画後期基本計画を策定する。

韮崎市第7次総合計画（令和元年度～令和8年度）

前期基本計画期間（令和元年度～令和4年度）

後期基本計画期間（令和5年度～令和8年度）

㉓ 情報システム管理費【新規】



1,976

P 98

庁舎窓口窓口支援システムを導入し、窓口でのおくやみ手続の待ち時間と手間を軽減し、円滑な誘導を図る。

㉔ グリーンロッジ管運営事業費【新規】



31,590

（令和3年度補正予算、繰越明許）

甘利山グリーンロッジを活用した山岳観光の推進を図るため、グリーンロッジの施設改修と設備拡充を実施するとともに、新たに炊事場や電気設備、Wifi環境を備えたキャンプ場を新設する。

② 韮崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進方針の策定

1.目的

SDGsの実現に向けて、2030 アジェンダや国の実施指針においては、地方自治体もSDGs達成に向けた不可欠な主体であり、パートナーであると位置づけられています。

また、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念は、住民の福祉の推進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担う地方自治体において、地域の先導役として、積極的に SDGsの達成に寄与する取り組みを推進する必要があるため、取り組み方針を定めるものです。

2. 推進体制

市長を本部長、副市長、教育長を副本部長、各課長を本部員とした「韮崎市総合計画・SDGs推進本部」を設置し、全庁的に取組を推進していきます。

また、進捗や達成状況の評価についても、総合計画と一体に行います。

3.推進方針

(1)職員への理解促進・意識浸透

市職員へ対し、随時研修を実施し、職員への SDGsの理解促進及び意識浸透を図ります。

(2)積極的な情報発信・普及啓発活動

ホームページや広報等で情報発信を行うとともに、配布資料などに SDGsアイコンを表示するなど、普及啓発に取り組めます。

(3)各種計画等への反映

第7次総合計画の基本計画の見直しに合わせ、SDGsの達成に向けた取組を位置づけ、客観的な成果指標を設け、推進していきます。

(4)ステークホルダーとの連携

自治体単独で解決することが難しい課題の解決を期待できることから、市民や企業、地域の団体、学校などと連携して取組を推進します。

また、まちづくり出前塾に新たにSDGs の観点を取り入れることで、市民とともにSDGs達成に向けた取組を推進します。

(5)国・県との連携

「国の実施方針」や「アクションプラン」、県の取組や他自治体の先進事例を参考にし、交付金や制度を積極的に活用した事業を展開します。

4.問い合わせ

総合政策課 政策推進担当 TEL:0551-22-1111(内線 355～357)

③ 韮崎市民活動サポートセンターの設置

1. 目的

市内で公共的な活動に取り組むすべての団体を支援し、市民協働のまちづくりを推進するため。

2. 内容

- (1) 本庁舎3階総合政策課内に市民活動サポートセンター相談窓口を設置し、様々なアドバイスや各種助成の案内を行います。
- (2) 庁内にある情報コーナー、ラウンジ、コピー機などを市民活動支援と関連付け、支援内容の充実を図ります。
- (3) 韮崎市民交流センターと連携し、会議室等の無料利用なども行います。
- (4) 活動団体登録制度を創設し、市内の団体紹介や市ホームページ等で情報発信を行います。

3. 体制

別紙、概要図参照

4. スケジュール

令和4年3月1日から、市民活動サポートセンター開設

5. 問い合わせ 総合政策課 政策推進担当

Tel: 0551-22-1111(内線 355)

ボランティア・市民団体・市民

協働

市民活動サポートセンター

市役所本庁舎

【相談窓口・団体登録受付：無料】

場所：総合政策課内
業務：法律等相談、支援制度案内、登録受付、他団体の紹介、情報発信、団体登録、団体紹介…

【情報発信：無料】

場所：市ホームページ
管理者：政策推進担当
内容：施設案内、事例集の掲載、市内の市民団体の紹介、各種情報発信…

【情報公開コーナー・Wi-Fi：無料】

場所：市役所1階ロビー
内容：団体の立上げや活動に関する書籍、活動に係る各種助成金のチラシ、その他参考書籍の設置
8時30分～17時15分(平日)
フリーWi-Fi：ビジター10分
SSID:FREEPOT

【コピー機：有料】

場所：市役所1階ロビー
料金：モノクロ10円
カラー 50円
利用日時：8時30分～17時15分(平日)

【フリーラウンジ・Wi-Fi：無料】

場所：市役所2階談話室
内容：無料で誰でも使用可
8時30分～17時15分(平日)
申込：不要
フリーWi-Fi：ビジター10分
SSID:FREEPOT

【人材育成：無料】

手法：まちづくり出前塾
窓口：政策推進担当
講師：講座の関係係課職員

連携

市民交流センター

【会議室：一部無料】

内容：市民団体の打合せ場所として使用可
申込：市民交流センター1階総合受付

【Wi-Fi：無料】

場所：1階共有スペース
内容：無料でインターネット環境の利用が可能
申込：不要

【コピー機：有料】

場所：1階共有スペース
料金：モノクロ10円
カラー 50円
利用日時：9時～10時(開館日)

【印刷機：有料】

場所：1階共有スペース
料金：版代 = 50円
B5・A4 = 3円
B4・A3 = 6円
利用日時：9時～10時(開館日)

④ 健「幸」社会の実現に向けた取り組み

1. Smart Wellness City

少子高齢化・人口減社会においては、高齢になっても健康で元気に暮らせること、それ自体が「社会貢献」であると言えます。

健康で元気に暮らせること、すなわち、「健幸＝健康で幸せ」であることは、個人と社会の双方にとってメリット(生きがい、豊かな生活、医療費の抑制)があります。

高齢化・人口減少が進んでも地域住民が「健幸(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」であるためには、そこに暮らすことで健幸になれる「まち」「Smart Wellness City(スマートウエルネスシティ)」が求められています。

2. 「Smart Wellness City 首長研究会」へ参加(1月24日加入)

本市においては今後、「ウエルネス」をまちづくりの中心に位置づけ、新たな都市モデルの構築を目指す同志の首長が集まる「Smart Wellness City 首長研究会」に参加し、まちづくり政策を自治体間の連携によって推進していきます。

健幸なまちづくりをめざす「Smart Wellness City 首長研究会」



健幸(ウエルネス)をまちづくりの中核に位置付け、住民が健康で元気に幸せに暮らせる新しい都市モデル「Smart Wellness City(スマートウエルネスシティ)」の構築を目指す同志の首長が集まり、平成21年11月に「Smart Wellness City 首長研究会」を発足しました。

「Smart Wellness City」の実現に向けて、毎年2回の研究会を定期的に関開催しています。



Smart Wellness City 首長研究会・発起人会共同宣言

本プロジェクトは、「ウエルネス(=健幸:個人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことのできること)」をこれからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、住民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す。そのために、科学的根拠に基づき市民の健康状態の改善が実証された以下の健康まちづくり政策を、自治体間の連携によって推進していこうとするものである。



- ・ 健康に対する望ましい生活を啓発する教育の充実
- ・ 健康への貢献も視点に入れたまちの美的景観及び歩道や自転車道、及び公園整備の推進
- ・ 健康への貢献も視点に入れた都市交通網及び商店街の整備
- ・ 夜でも歩ける治安の維持・強化
- ・ 健康づくりの視点からも地産地消ができる農業等の推進
- ・ 地域での健康づくりネットワークを支援する、先端的健康サービス産業の育成

これらにより、世界で未だ確立されていない「少子高齢・人口減社会」の克服を可能とするまちづくり「Smart Wellness City」の具体策を創造・構築することを目的とする。

「SWC首長研究会HPより」

*研究会加入自治体 見附市、新潟市、多摩市、南ア市など 116 自治体(1/25 現)

3. 問い合わせ 健康づくり課 健康増進担当 TEL:0551-23-4310

⑤ 韮崎市立病院整形外科「肩肘手の外科センター」の開設

1.概要

県内において肩関節疾患の治療で認知度の高い神平雅司医師と手の疾患の専門医である松木寛之医師により、肩関節、肘関節、手関節及び手の疾患に対する専門的な治療を行う「肩肘手の外科センター」を令和4年4月から開設します。

2.対応する疾患

肩：五十肩、腱板断裂という肩の腱が断裂した状態や習慣性肩関節脱臼のほか、加齢や使いすぎによる疾患

肘や手：使いすぎによるテニス肘と言われる肘の痛み、加齢によるもの、スポーツ障害等

※神平雅司医師によると、五十肩は誰もが知っている疾患で、放置しても自然に治ると言われていますが、適切に治療しなければ、軽度な後遺障害を含めると70%は何らかの症状を残すとのこと。

※緊急手術を必要とするような患者さんには対応することができません。

3.体制

県内では、上肢疾患を専門とする整形外科医は少なく、ひとつの病院に肩肘手などの上肢を専門にする医師が2人いることは珍しいことです。また、この疾患の治療においては、リハビリテーションが非常に重要で、韮崎市立病院の理学療法士、作業療法士はその知識や経験が豊富で優れているため、患者さんを中心として、チームで治療する方針です。

このセンターの開設により、市内外から多く患者さんに受診してもらえるよう、特色ある診療科を目指し、山梨大学との連携強化、若手医師の研修や上肢疾患専門医の育成、さらには、整形外科医師や理学療法士などの確保につなげていきたいと考えています。

裏面へつづく

4.医師の主な経歴

神平雅司(センター長) 昭和32年生 大阪府出身

専 門 肩関節外科

経 歴 昭和57年信州大学医学部卒、同整形外科入局
平成21年7月～ 韮崎市立病院勤務

資格等 日本整形外科学会専門医
信州上肢の外科研究会代表
山梨県指定難病審査委員
社会保険診療報酬支払基金審査委員
厚生労働省関東信越厚生局保険指導医

山梨県高等学校野球連盟の依頼により、全国大会代表校投手の甲子園出場直前の肩肘の診察も行っています。

松本寛之(副センター長) 昭和51年生 山梨県甲府市出身

専 門 手の外科、肩関節外科、肘関節外科、骨粗鬆症、リハビリテーション

経 歴 平成14年富山医科薬科大学医学部卒、信州大学医学部整形外科入局
平成30年4月～ 韮崎市立病院勤務

資格等 日本整形外科学会整形外科専門医
認定スポーツ医
認定運動器リハビリテーション医
日本リハビリテーション学会認定臨床医・専門医
日本手外科学会手外科専門医
日本医師会認定健康スポーツ医
日本骨粗鬆症学会認定医

5.問い合わせ 韮崎市立病院 総務担当 TEL:0551-22-1221



⑥ 蕨崎市スポーツコミッションの設立

蕨崎市では、県内初の地域スポーツコミッションである、蕨崎市スポーツコミッションを設立します。

設立にあたり、下記のとおり、設立総会及び設立記念講演会を開催します。

I. 蕨崎市スポーツコミッションの概要

別紙資料参照

II. 蕨崎市スポーツコミッション設立総会(関係者のみ)

1.開催日 令和4年3月19日(土)

2.場 所 東京エレクトロン蕨崎文化ホール会議室

3.日 程(予定)

◆総会開会 13時15分～(受付開始は13時～)

※おおよそ45分程度を予定

◆設立総会次第

(1)開会

(2)開会のことば

(3)議案審議

(ア)議案第1号 蕨崎市スポーツコミッション役員体制案について
議決後 執行部及び企画経営委員会委員紹介

(イ)議案第2号 設立趣意書及び設立宣言について

(ウ)議案第3号 蕨崎市スポーツコミッション設立基本方針について

(エ)議案第4号 第1期5箇年基本計画及び第1期5箇年経営計画について

(オ)議案第5号 令和4年度事業計画及び予算計画について

(4)質疑応答

(5)閉会のことば

III. 蕨崎市スポーツコミッション設立記念講演会(一般入場者あり:定員150名)

1.開催日 令和4年3月19日(土)14時30分～

2.場 所 東京エレクトロン蕨崎文化ホール小ホール

3.日 程(予定)

◆講演会開式 14時30分～(受付開始は 14時～)

※おおよそ 2 時間程度を予定

◆設立記念講演会次第

- (1)開会のことば(荏崎市教育委員会教育長(設立検討委員会委員長))
- (2)荏崎市スポーツコミッション設立に向けた経過説明(スポーツ振興担当)
- (3)執行部及び企画経営委員会委員紹介
- (4)総裁あいさつ(荏崎市市長(荏崎市スポーツコミッション総裁))
- (5)設立趣意書の朗読及び設立宣言(荏崎市スポーツコミッション総裁(市長))
- (6)祝辞(荏崎市議会議長)
- (7)設立記念講演会基調講演
講師:大阪体育大学学長、
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長 原田 宗彦 氏
演題:「スポーツによる地域の活性化」
- (8)閉会のことば

4.主 催 荏崎市・荏崎市教育委員会・荏崎市スポーツコミッション

IV.問い合わせ

荏崎市教育委員会教育課 スポーツ振興担当

(荏崎市スポーツコミッション設立検討委員会事務局)

TEL:0551-22-8062

【参考】

地域スポーツコミッションとは、地方自治体、体育協会、総合型地域スポーツクラブ、民間企業(観光産業、スポーツ産業)、商工団体等が一体となって、スポーツと地域資源を掛け合わせたまちづくり、地域活性化に取り組む組織です。

《地域スポーツコミッション認定に必要な 4 要件》

要件 1	常設の組織であり、年間を通じて活動を行っている。 (時限的組織を除く)
要件 2	スポーツツーリズムの推進、スポーツイベントの開催、大会や合宿・キャンプの誘致など、スポーツと地域資源を掛け合わせたまちづくり・地域活性化を主要な活動の1つとしていること。
要件 3	地方自治体、スポーツ団体、民間企業(観光産業、スポーツ産業)等が一体となり組織を形成、または協働して活動を行っていること。
要件 4	特定の大会・イベントの開催及びその付帯事業に特化せず、スポーツによる地域活性化に向けた幅広い活動を行っていること。

※構成員の常勤・兼務は問わない。

※以上の4要件を備えていれば、組織名称は問わない。

荏苒市スポーツコミッション体制構想図

【現状・目的】

- ・地域スポーツ振興組織は、少子高齢化・担い手不足等の慢性的課題が顕著になりつつある。また、スポーツイベントでは縦割りのため、地域活性化への寄与が不明瞭である。
- ・市内の地域スポーツ組織の再生と、スポーツツーリズムの確立（イベント主体の一元化）をするためには、荏苒市スポーツコミッションを設立する必要がある。
- ・荏苒市スポーツコミッションを設立し、令和7年度頃の独立民営化を行うことにより、将来的に持続可能な荏苒市スポーツ振興体制を樹立することができる。

【第1期5箇年基本計画】

組織・経営理念
 荏苒市におけるインナー施策及びアウトナー施策の実施による地域の活性化、並びに、「ウェルネスの実現」に基づくスポーツを通じた、新しく持続可能なまちづくりの推進を行う組織

荏苒市スポーツコミッション

【第1期5箇年経営計画】

経営方針

- ・行政及び過度な補助金に依存しない自主可能な組織体制の確立
- ・荏苒市のスポーツによる活性化
- ・荏苒市にしかないスポーツ施策の実施
- ・将来的な広域的アウトナー施策の実施
- ・荏苒市民のための生涯スポーツ振興の確立

インナー施策

（地域スポーツ振興体制の再生）

【インナー施策骨子】

- (A) 地域スポーツ・イベント事務局の民間移行
- (B) 荏苒市スポーツコミッション傘下となる組織の現代化・合理化
- (C) 地域部活動制度の統括
- (D) 荏苒市スポーツコミッション体制の確立

アウトナー施策

（スポーツツーリズムの確立）

【アウトナー施策骨子】

- (a) アウトナー施策の研究・実施
- (b) 域外人的交流の推進
- (c) スポーツイベントの将来的な一元的管理・運営
- (d) スポーツツーリズムによる域内産業の活性化

令和7年度

独立民営化

【令和7年度～体制（案）】

総 裁：民間人
 事務局：民間団体

【令和4年度～6年度体制】

総 裁：市長
 事務局：市スポーツ振興担当

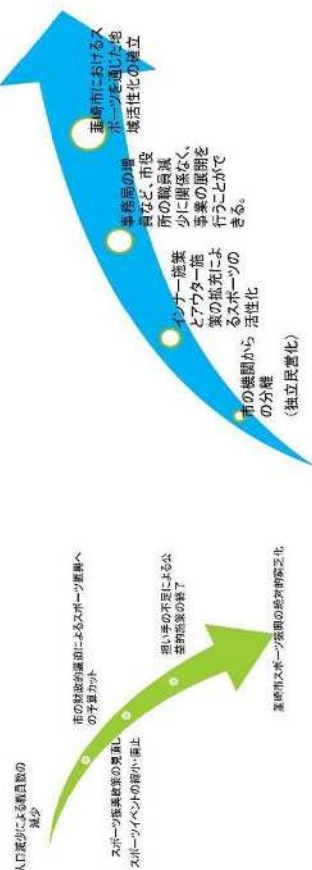
【設立の効果】

- ・将来的な人口減少による、市職員の減少及び市収入の減少並びにスポーツに関する補助金削減が見込まれるが、市からの独立によりその影響を減少させることができる。(A)
- ・荏苒市地域スポーツ振興組織再生のため、現在の事業を整理し、より市民に近づけるために事務局の民間への移行を行い、参加者が低迷している市体育祭などの活性化をする。(A・B)
- ・アウトナー事業等実施に伴う収益を、インナー施策に再投資することにより、インナー施策の充実を推進することができる。(B・a・c・d)
- ・地域部活動制度対応、アウトナー施策の実施によりスポーツの産業化を果たし、スポーツ産業への雇用率の拡大をすることができる。(C・D・a・c・d)
- ・スポーツイベントの一元的管理運営体制の構築により、ターゲットを明確化するなど有機的なスポーツ×観光の連携を実施することができる。(D・b・c・d)
- ・独立民営化を果たすことにより、緊張感を持った組織運営体制を構築することができる。(D・c・d)

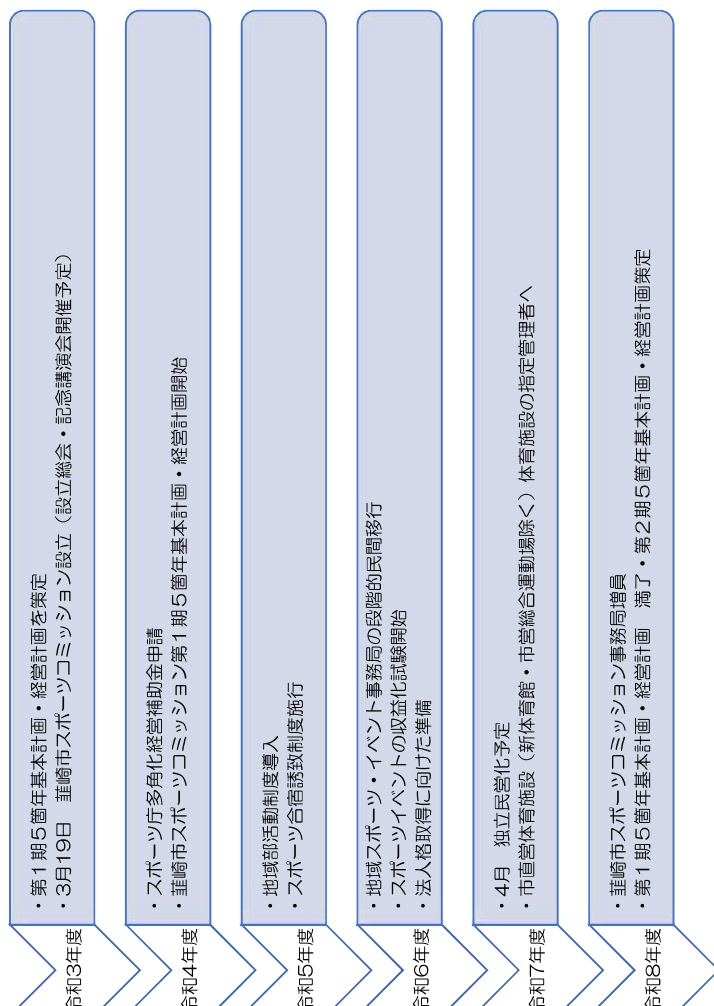
【第1期5箇年経営計画想定案】
今後の荏苒市スポーツ振興体制の想

現状のまま(スポーツ振興担当が担ったまま)、移行した場合。

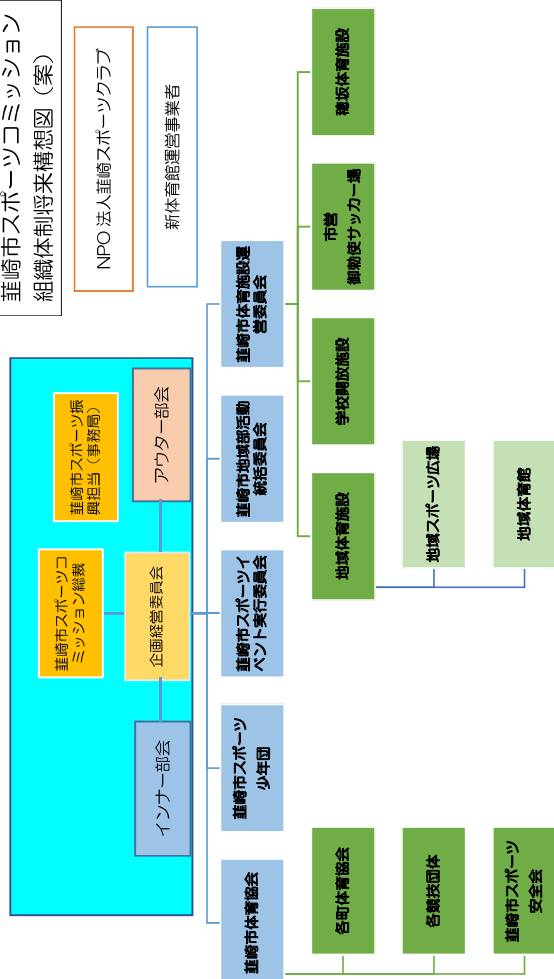
荏崎市スポーツコミッション体制が確立された場合。



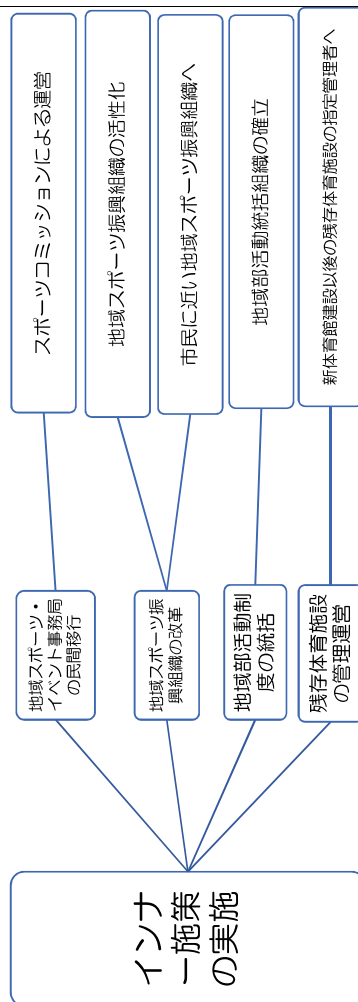
【今後のスケジュール】



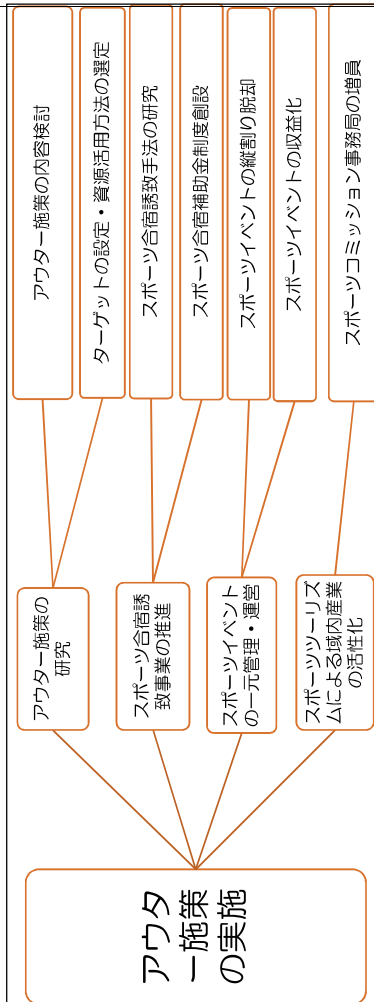
葦崎市スポーツコミッション
組織体制将来構想図（案）



実施の策イン



アウタ
一施策
の実施



「スポーツによる地域の活性化」

2022年3月19日(土) 14:30~

(受付 14:00~)

参加費無料

定員：150名

東京エレクトロン荏苒文化ホール・小ホール

荏苒市藤井町坂井205番地 TEL 0551-20-1155



講師

原田宗彦

(はらだ むねひこ)

1954年 大阪府生まれ

1977年 京都教育大学教育学部卒業

1979年 筑波大学大学院体育研究科修了

1984年 アメリカ州立大学体育・レクリエーション学部博士課程修了

1987年 鹿屋体育大学助手

1988年 大阪体育大学専任講師

1995年 フルブライト上級研究員(ワシントンA&M大学)

1995年 大阪体育大学大学院教授

2005年 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

2021年 大阪体育大学学長(～現在)

《研究分野》

「スポーツと都市づくり」

「スポーツの産業化」

「スポーツによる地域活性化」

《主な社会的活動》

- ・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長
- ・スポーツ庁武道ツーリズム研究会座長 2019
- ・スポーツ庁スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会座長 2018-2019
- ・佐賀県総合運動場等整備基本計画検討委員会 2016-2017
- ・スポーツ庁スポーツによる地域活性化を担う事業体についての検討会座長 2016
- ・経済産業省ヘルスツーリズム認証制度検討委員会座長 2015-2016
- ・名古屋市スポーツ戦略会議有識者会議委員
- ・日本スポーツ産業学会理事 ・日本バレーボール協会理事
- ・札幌市2026年冬季五輪開催概要計画検討委員会委員長

次 第

- (1) 開会
- (2) 経過報告
- (3) 執行部・企画経営委員会委員紹介
- (4) 総裁あいさつ
- (5) 設立趣意書朗読・設立宣言
- (6) 来賓祝辞
- (7) 基調講演
- (8) 質疑応答
- (9) 閉会

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催を中止とする場合がありますのでご了承ください。

《開催趣旨》

地域スポーツ振興組織の再生とスポーツツーリズムの確立を通じて、市民の“ウェルネスの実現”と“域外からの交流人口の拡大”を図り、スポーツの振興と地域経済の活性化を目的に、2022年3月19日に「荏苒市スポーツコミッション」が設立される運びとなりました。

これを記念して、「スポーツによる地域の活性化」をテーマに講演会を開催します。

■主催 荏苒市 荏苒市教育委員会 荏苒市スポーツコミッション

■後援 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

＜お問い合わせ＞

荏苒市教育委員会教育課 スポーツ振興担当 TEL&FAX 0551-22-0498

参加方法 申込〆切：3月14日(月)

①ウェブ申込 右のQRコードから⇒

②FAX申込 裏面の申込書をお送りください

(平日:9時~17時)



〆切：2022年3月14日（月）必着（事前申込/定員制）

荏崎市教育委員会教育課 スポーツ振興担当 行

FAX 0551-22-0498

荏崎市スポーツコミッション設立記念講演会 参加申込書

カナ氏名	
氏 名	
年 齢	
郵便番号	
住 所	
連絡先（電話番号）	
連絡先（FAX番号）	
アンケート（任意） ワクチン接種回数を差し支えない 範囲でお教えてください。	未回答 0回 1回 2回 3回以上

※応募〆切までに定員に達した場合は、事務局よりFAX又は電話でお受けできない旨のご連絡を申し上げます。

※ご記入いただいた個人情報は、本講演会以外の目的には使用いたしません。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大のため、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

⑦ 窓口支援システムの導入

1. 概要

様々な申請や届出がある中、死亡(おくやみ)に関する手続は、亡くなられた方によって種類が異なるため、以前から「わかりにくい」という意見がありました。

さらに、関係課も多く、また、複数の申請書等に何度も同じ情報(住所や氏名等)を記入するなど、時間も手間もかかっています。

そこで、パソコンやスマートフォンから質問に答えていくだけで、必要な手続や持ち物が確認できる「手続ガイド」と、マイナンバーカード等からの基本情報を複数の申請書や届出書に反映することができる「書類作成に係るデジタルツール」を活用し、『待たせない・書かせない・迷わせない』による、市民の負担軽減と、窓口サービスの向上を図ります。

2. 導入時期 令和4年7月(予定)

3. 対応分野 死亡(おくやみ)に関する手続

4. 導入効果 <待たせない・迷わせない・書かせない>

- ・ 必要な手続や担当窓口を円滑に案内
- ・ パソコンやスマートフォンで必要な手続や持ち物を把握
- ・ マイナンバーカード等から基本情報を申請書等に反映

5. 案内可能な手続(予定)

国保・後期高齢者医療・年金関係

医療費助成関係

介護保険関係

市税等の関係

障がい福祉関係

上下水道関係

農地・山林関係

その他

※洗い出しにより、今後正式に決定します。

6. その他

今回は、手続が複雑とされる死亡(おくやみ)についてのみとなります。

今後の動向を見ながら、他の業務にも展開させていく予定です。

7. 問い合わせ(担当)

総務課 情報推進担当 TEL:0551-22-1111(内線 283)



⑧ 武田の里ウォーク ～新府桃源郷コース～

1. 開催日 令和4年4月9日(土) 雨天決行
受付:スタート時間の30分前

2. 大会概要

距離	12km	8km
コース	葦崎中央公園～新府城跡～穴山さくら公園～新府桃源郷(新府共選場)～葦崎中央公園	葦崎中央公園～新府城跡～新府桃源郷(新府共選場)～葦崎中央公園
参加資格	県内在住の健康な中学生以上	
定員(先着順)	200人	200人
参加料	1,000円(中学生は無料) ※当日、受付にて支払い	
スタート	9時から15分間隔で 時差スタート(4回)	10時から15分間隔で 時差スタート(4回)
ゴール	最終時刻 15時 スタート・ゴール会場:葦崎中央公園陸上競技場	
その他	給水ポイント、常設・仮設トイレあり。完歩者には参加賞あり	

3. 申込期間 2月1日(火)～3月14日(月)
9:00～17:00 (窓口は、土・日曜日、祝日を除く)

4. 申込方法 窓口(市営体育館・教育課)での直接申込み、市ホームページ(特設サイト)、郵送

5. 大会PR にらさきの自然・風景・文化を体感できる恒例の春のウォーキングイベントです。

今年は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、県内在住の健康な中学生以上を対象に新府桃源郷コース(12km・8km)に規模を縮小し開催します。

この時期は、桃の花や桜がちょうど見頃となり、コース途中の「新府桃源郷」から残雪の山々をバックに眺める景色は圧巻です。また、環境整備が進む大手丸馬出地区からの富士山の眺望が楽しみ、本丸北側虎口の礎石の発見で注目が高まる「新府城跡」もゆったり巡り、ふるさとの魅力を再発見しながら、日ごろからの運動習慣や健康管理の契機としていただければと思います。

各コースとも定員制とし、時差スタートの導入やコース途中及びゴールでの接待・販売コーナーの設置は行わず、また、参加者のマスク着用(歩行前後は必須)や手指消毒の徹底、大会2週間前からの“体調管理チェックシート”の記録・提出など感染防止対策に万全を期すこととしています。

なお、今後の感染状況によっては、中止又は内容の変更、前日又は当日の参加者の陰性確認を実施する場合があります(3月下旬頃、スタート時刻とあわせて事前通知します)。

6. 主催 葦崎市・葦崎市教育委員会

7. 問い合わせ(担当) 武田の里ウォーク実行委員会
Tel:0551-22-0498

令和4年春・武田の里ウォーク～新府桃源郷コース～



武田の里ウォーク ～新府桃源郷コース～

令和4年4月9日(土) 雨天決行

・会場: 韮崎中央公園 韮崎市藤井町北下條2531

・コース: 8kmコース・12kmコース

主催: 韮崎市・韮崎市教育委員会

主管: 武田の里ウォーク実行委員会

協力: 峡北消防本部・甲斐警察署・韮崎市体育協会・韮崎市スポーツ推進委員会・韮崎市地区長連合会

企画展

徳島堰

入館無料

大地を潤す用水の歩み

▶会期

2022年

1月21日(金)

—
6月26日(日)

▶開館時間

9:00～16:30

(木曜日は13:00～16:30)

▶休館日

月曜日

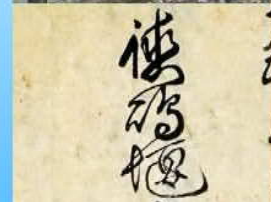
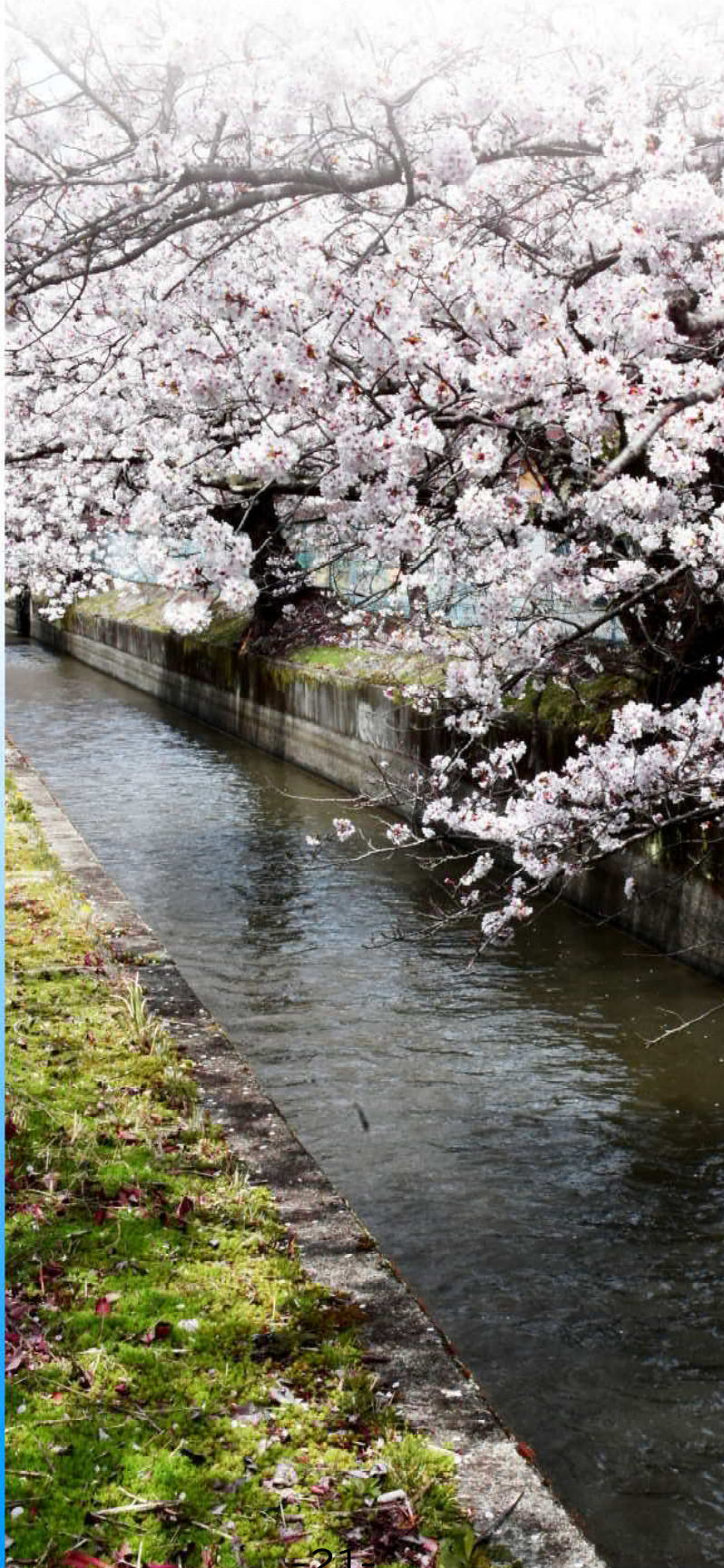
祝日の振替休館日

荏
崎
市
民
俗
資
料
館
Nirasaki Municipal Folklore Museum

<https://niramin01.blog.fc2.com/>

山梨県荏崎市藤井町南下條786-3
0551-22-1696

公式ブログ



武田の里の鎌倉時代

～遺跡から垣間見る甲斐源氏の姿～

▶ 会期 令和4年2月18日(金)～6月26日(日)

▶ 開館時間:9:00～16:30 (木曜日は13:00～16:30)

▶ 休館日:月曜日、祝日の振替休館日

▶ 入館料:無料



御牧神社境内出土壺 (個人蔵)



鎌倉との関係を示唆するカワラケ



富の象徴「蔵」跡 (武田東畑遺跡)



権威を物語る貿易陶磁器 (武田東畑遺跡)

●関連講座 (6月週末の連続4回講座 (予定))

6/04 甲斐源氏と武田信義

6/11 甲斐源氏の考古学

6/18 甲斐源氏と八幡信仰

6/25 甲斐源氏と仏像

★関連講座の内容・申し込み方法などの詳細は5月号の広報をご確認ください。タイトルなど変更する場合があります。

●主な展示資料

武田信義館跡と伝えられる武田東畑遺跡出土品

逸見氏と関わりを指摘されている御牧神社境内出土の常滑焼の壺 (個人蔵)

甘利氏館跡と伝えられる大輪東遺跡出土品 (山梨県立考古博物館蔵)

円井氏館跡と目される石之坪遺跡出土品

甲斐源氏との関わりのある寺社等についてパネル解説

●企画展関連グッズ

甲斐源氏棟梁武田信義武将印 (1枚: 300円)



甦

よみがえり

韮崎大村美術館 春の企画展

2022

3.5[土] - 5.29[日]

開催時間 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)
※3月は10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 水曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

入館料 一般500円(420円)、小中高校生200円(160円)
※韮崎市内に在住・在学の小中高校生は無料
※()内は20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方はご本人と介護の方が1名無料

展示作家 佐野智子、堀文子、岡田節子、荏子福、栗原一郎 ほか

主催 韮崎市立韮崎大村美術館

後援 学校法人女子美術大学、一般社団法人女子美術大学同窓会、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、
テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、読売新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、
山梨新報社、日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府、エフエム八ヶ岳、
韮崎ジャーナル、nanairo株式会社

関連イベント

■ワークショップ【要予約】

「花選びからスワッグづくりを楽しもう」

4月2日(土) ①10:30 ~ ②13:00 ~

4月16日(土) ①10:30 ~ ②13:00 ~

詳細、お申込についてのお知らせは美術館のホームページ、チラシなどで告知いたします。またはお問い合わせ下さい。



韮崎大村美術館
ホームページ

ra Art Museum

韮崎大村美術館 〒407-0043 山梨県韮崎市神山村鍋山 1830-1

TEL/FAX 0551-23-7775

HP <http://nirasakiomura-artmuseum.com/>

【掲載作品】水野恭子《春の森》



莊司福《土》【企画展】



上村松園《櫻下處女図》
【常設展】

葦崎大村美術館 春の企画展

更生

よみがえり

2022
3.5[土] - 5.29[日]

花をはじめとした植物たちはその成長過程で様々なシーンを生み出し、花盛りの時には風光明媚な景色を生み、私たちに感動や安らぎ、活力をもたらしてくれます。また、種から芽を出した姿を目にした時に、ひとはこれから先の未来、希望を感じて心を躍らせ、反対に枯れ行く姿からは切なさと共に、最盛期のころとは違った色や形から美しさを見出したり、これまでの軌跡を懐かしみ、そして新たな命への期待を感じているのではないのでしょうか。多くの画家たちも最盛期のころだけでなく、芽吹きころや終焉に向かう姿を作品の主題として取り上げ、そこに「美」と「生死」、再び生まれる命のかたちを探求しています。

本展覧会では、植物たちの誕生、盛り、終焉への姿が描かれた作品を中心に展示し、多様な美しさとともに、繰り返される自然の営みをご覧ください。盛りの頃だけでない花、木、草の美しさや出会い、そして日々の中にある自然を新たな視点で見つめるきっかけとなりましたら幸いです。



堀文子《華やく終焉》【企画展】



藤倉久美子《日だまり》【常設展】



佐野智子《山葡萄と少年》【企画展】

常設展示

【1階展示スペース】

上村松園、小倉遊亀、片岡球子、ラゲザ・玉、堀文子、三岸節子、大久保婦久子 他
※企画展示と併せて展示替えを行っています。

大村智記念室

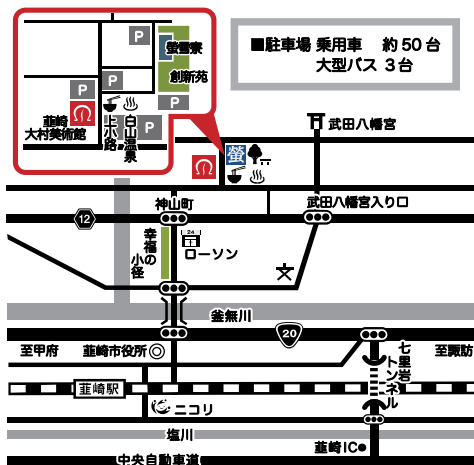
【1階展示スペース】

大村博士のノーベル賞受賞に関わる資料やスポーツマンとしての足跡、趣味で集めた品々を公開しています。

鈴木信太郎記念室

【2階展示スペース】

洋画家・鈴木信太郎の作品や関連資料を常設で展示しています。豊かな色彩とやわらかな線で描かれた、心がほのぼのとする作品たちをぜひご覧ください。



交通案内

【お車で越しの場合】

中央自動車道「葦崎」ICから約4km（約10分）
（武田乃郷白山温泉の隣）

【公共交通機関をご利用の場合】

■バスを利用

JR中央本線「葦崎」駅から市民バス「上戸井上」行き（約10分）
「葦崎大村美術館前」下車徒歩2分

■タクシーを利用

JR中央本線「葦崎」駅から2.8km（約5分）

■市民バス時刻表

行き	葦崎駅 → 葦崎大村美術館前
	11:21 14:15 16:20
帰り	葦崎大村美術館前 → 葦崎駅
	12:25 15:20 17:20

葦崎大村美術館サテライトスペース

バーナード・リーチ、島岡達三らの陶器、女性作家のブロンズ像、マヤ土器などを展示
場 所：〒407-0015 山梨県葦崎市若宮1丁目2番50号
葦崎市民交流センター「ニコリ」1階 JR葦崎駅前すぐ
観覧料：無料 / 休館日：月曜日（祝日は開館、翌日休館）

！ 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、各イベント、開館日時などを変更する場合がございます。予めご了承ください。詳しくは当館 Web サイトをご確認いただくか、お問い合わせ下さい。

